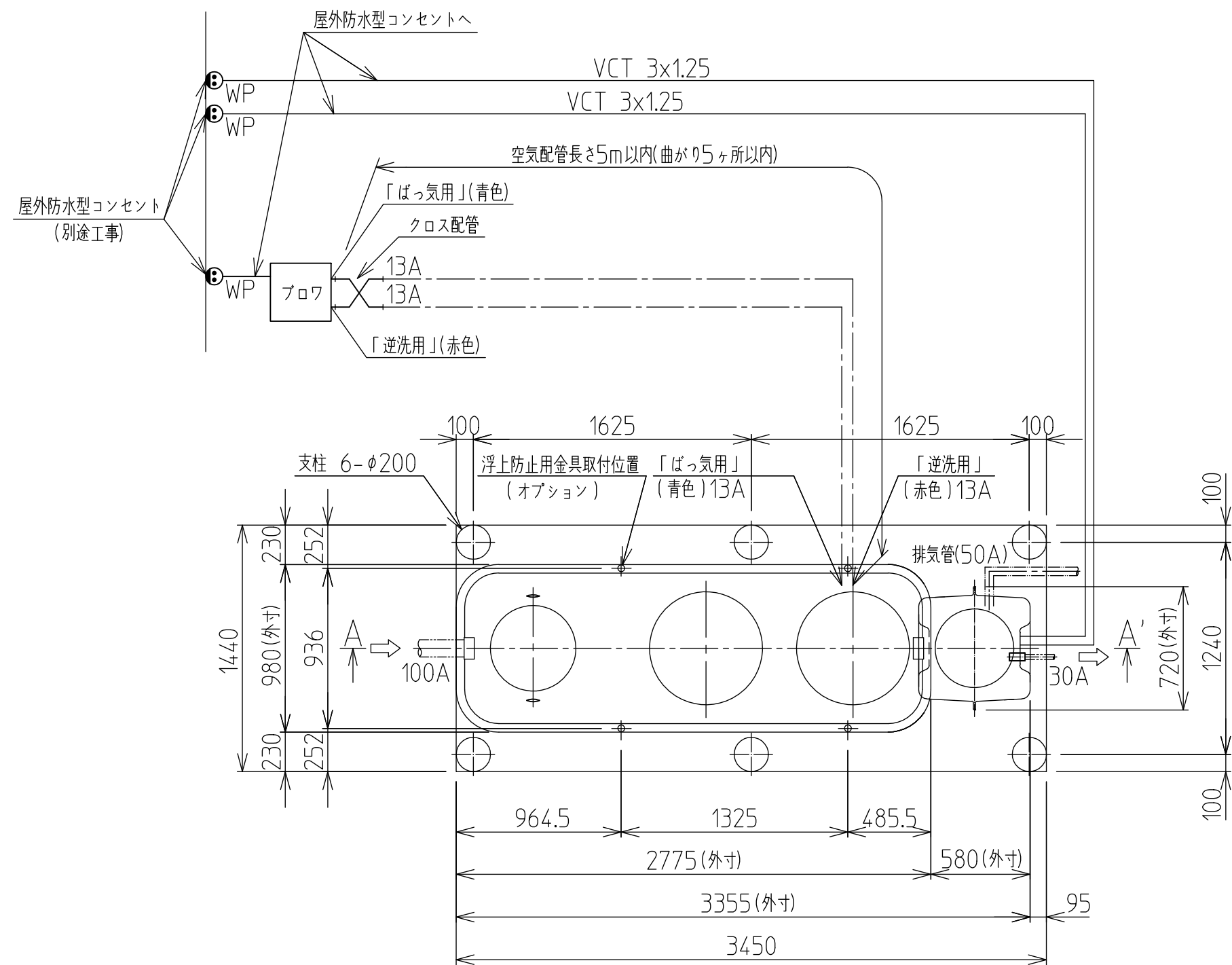
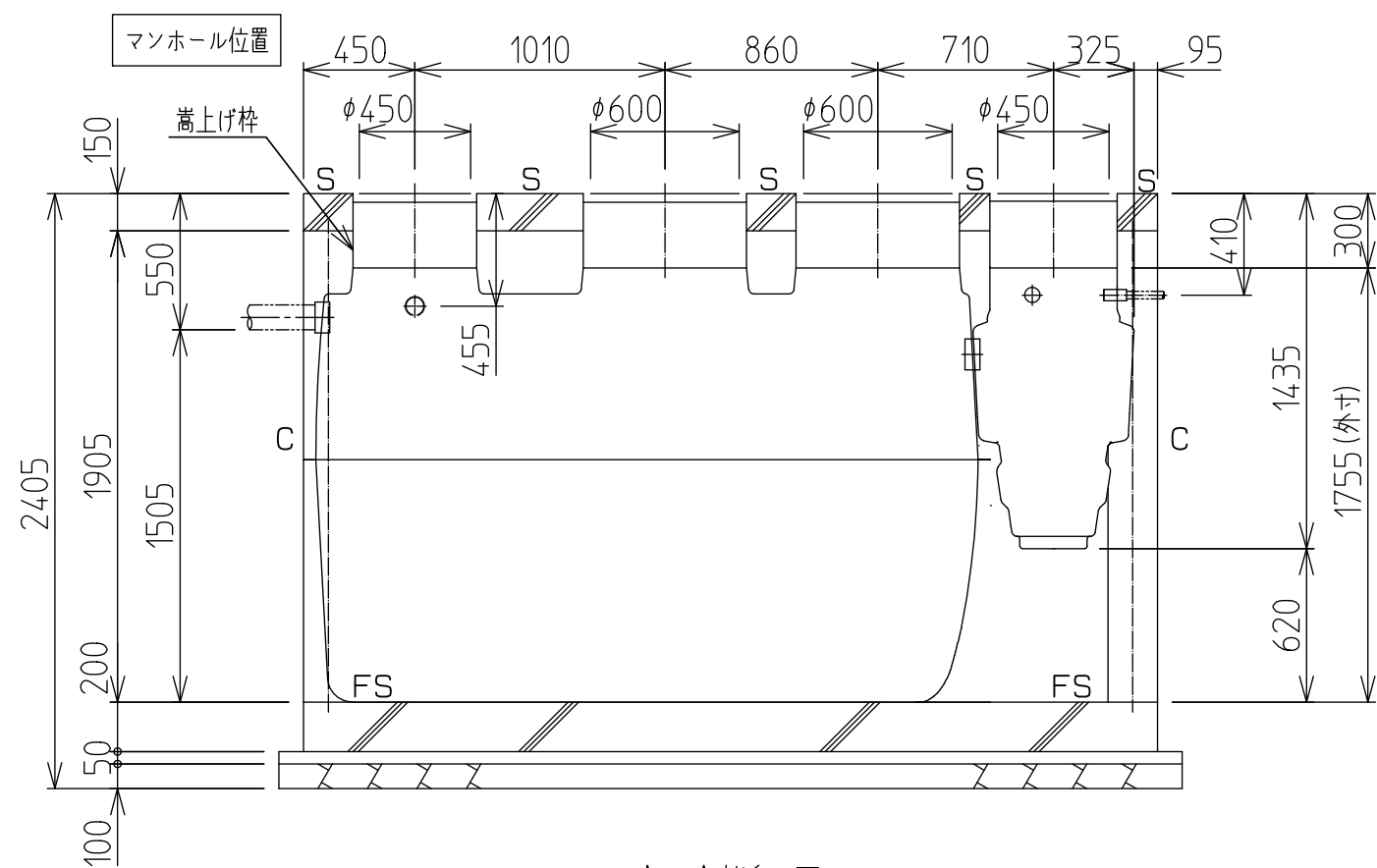
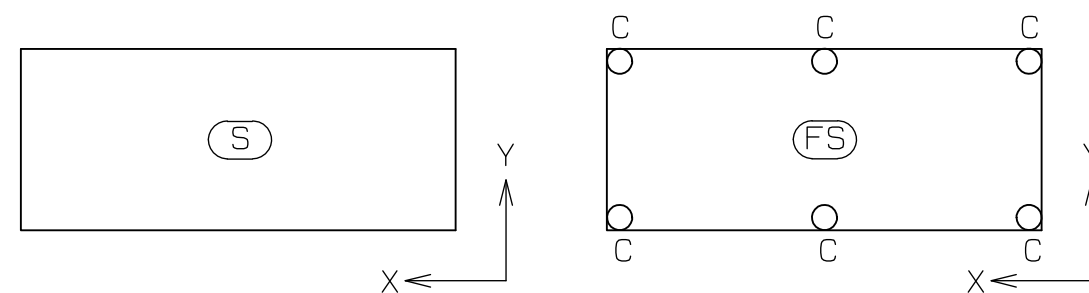




平面图

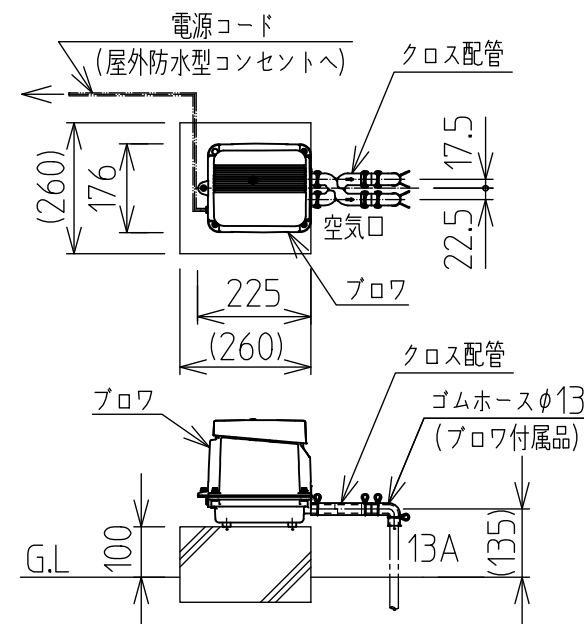


A-A' 断面図



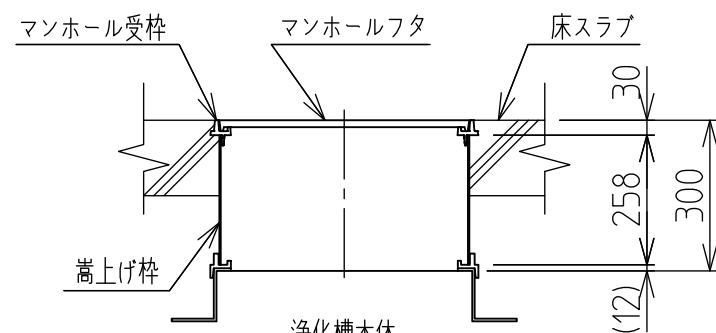
床スラブ伏図

基礎スラブ伏図



ブロー据付図(例)(尺度 N.T.S)

(EP-60G-Rの場合)



丸型マンホール枠詳細図(例) (尺度 N.T.S)

(嵩上げ枠AJW型を使用した場合)

- 注記)
1. 本図は施工図(例)です。設置場所の状況を確認の上、工事の仕様を検討し、施工してください。
 2. 本図は車面総重量2.0t以下および6.0t以下の車が通る場所に設置する浄化槽工事仕様の施工図です。
積雪高さ1m以下の場所に設置してください。
 3. 嵩上げ枠は「九型マンホール格付詳細図(例)」を参考に高さを調整して施工ください。
 5. 屋外防水コンセント(アースターミナル付)を用意してください。(別途工事)
電源の一次側には、漏電遮断器(ELB)を付けてください。
(放流ポンプの電源には、各ポンプ毎に1個ずつ取付けてください。)
 6. 流入管・流出管、臭突管、排気管、空気管(浄化槽へ機器)、電気配線、電線管は現地に用意ください。
 7. プロフは仕様が異なる場合があります。
 8. 湧水水位が基礎スラブ上から40~90cmの場合は、浮上防止工事を行ってください。
 9. 放流ポンプの配線は、内径28mm以上の電線管を使用してください。
(電線管内にポンプのプラグを通す場合は、内径36mm以上の電線管を使用してください。
その際、電線管の接合部は、発泡ウレタンにより気密シールを行ってください。)
 10. 放流ポンプの電線管端部は、発泡ウレタンにより気密シールを行ってください。
 11. 放流ポンプ槽が付く場合は、必ず臭突管工事または排気管工事を行ってください。
 12. 工事前に施工要領書をお読みいただき、正しい施工を行ってください。
 13. 行政等への指導がある場合は、行政等への指導に従ってください。
 14. 本図は構造強度上最低限必要な寸法及び仕様としています。施工上仕様の変更が必要な場合は見直ししてください。
 15. 建築物、道路沿いおよび崖下等は、非常に大きな土圧が浄化槽にかかりますので、浄化槽を建築物等から荷重
可及的な位置まで離して設置してください。離して設置できない場合は、よう壁を設けてください。
 16. プロフPE-60G-Rを使用する場合は、クロス配管を使用してください。

配筋			仕様			
名称	版厚	記号	仕様			
床スラブ	150	S	X方向	D10	@200	ダブル
			Y方向	D10	@200	ダブル
基礎スラブ	200	FS	X方向	D13	@200	ダブル
			Y方向	D13	@200	ダブル
支柱	φ200	C	主筋	4-D13	HOOP	D10@100

(注記)

鉄筋 : SD295A

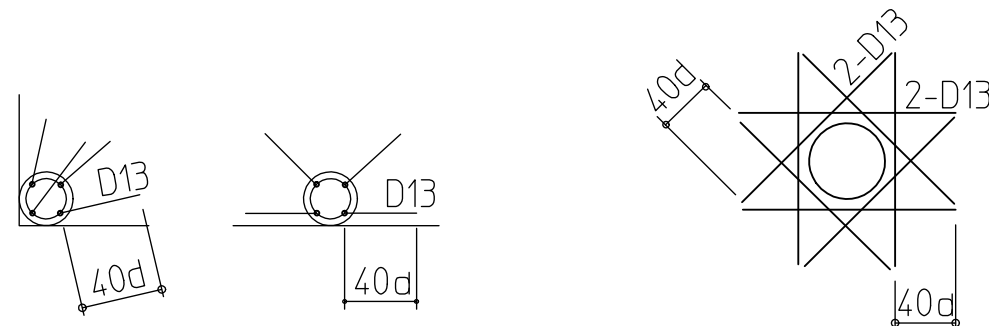
コンクリート : FC=21N/mm²

開口部補強筋 : 各1-D13 ダブル

マンホール仕様 : T-2仕様、安全荷重5KN

: T-6仕様、安全荷重15KN

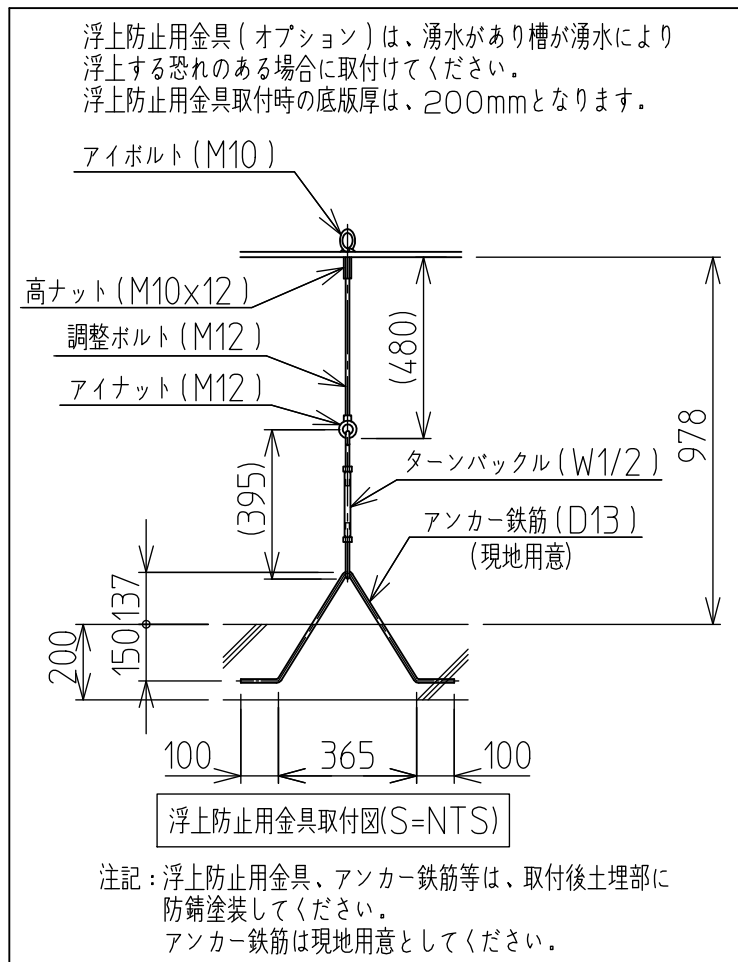
淨化槽寸法 (mm)
W980 × L3355 × H1755



支柱配筋

筋 強 補 部 □ 開

浮上防止用金具（オプション例）



製 図	イソヤマ	08-12-01	入庫 08-12-01 庫	品名	T-2・T-6仕様、深埋め300
審 査	オオスマ	08-12-01		尺度	KBR1-5P 施工図(例)
承 認	イシカギ	08-12-01		1:30	
株式会社 ハウステック				縮減図番	YUC210055 △3